

遺伝子情報を活用した個別化薬物療法の確立

研究キーワード

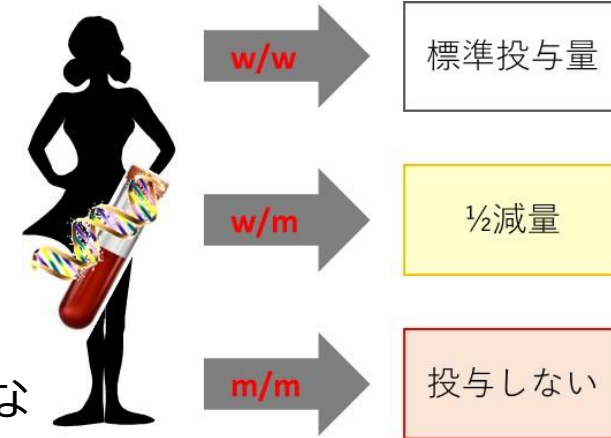
個別化治療、プレジジョンメディシン、遺伝子多型、薬理遺伝学、ファーマコゲノミクス

研究概要

お酒に強い弱いは、アルコールを分解する酵素が機能しているかどうかで決まります。

薬も同様に、酵素によって薬が分解できない場合、重篤な副作用発現に繋がります。このような酵素の機能を事前に調べることで、薬の副作用を未然に防ぐことができます。個々の患者のもつ酵素の機能は、その酵素の遺伝子多型を調べることで分かります。

当講座では、酵素や受容体等の活性に影響する遺伝子多型を解析し、個々の患者に最適な薬の用量を算出する研究を行います。



SA学生さんへのアピールポイント

本研究は文部科学省採択事業「Easy-accessな次世代型プレジジョン医療臨床研究を推進する恒久的な研究医養成プログラム」の研究専門部会の研究です。

各臨床講座で薬物治療されている患者さんの血液検体からDNAを抽出して、薬物代謝酵素や受容体などの遺伝子多型をPCR法などを用いて解析します。

研究対象患者にあわせて、成果を発表する学会が変わりますが、基本的に口頭発表して頂きます。